

# 決算審査!

来年度予算へつなぐ質疑

## 令和6年度歳入歳出決算・ 令和7年度補正予算などを審議



副委員長  
七戸 仁



委員長  
福沢 秀己

決算に関する特別委員会は、委員長に福沢秀己委員、副委員長に七戸仁委員が選任され、9月8日から10日までの3日間にわたって、付託された議案第1号令和6年度深浦町一般会計歳入歳出決算から議案第25号工事の請負契約の件までの議案25件について審査しました。

審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。

### 質疑応答

#### 【入湯税】

入湯税の充当先は

#### 問 八木委員

入湯税は特定目的税になっている。どのような事業に使われているのか。

#### 答 財政課長

観光施設の維持管理、消防施設の維持管理に使われている。

#### 【風力発電事業 寄付金】

風力発電事業寄付金の充当先は

#### 問 八木委員

グリーンパワー深浦風力発電事業寄付金の充当先は。

#### 答 財政課長

地域公共交通、深浦宿泊キヤンペーン、各種計画策定(総合計画・子ども子育て支

援計画・地域福祉計画)、商業振興の大売出し補助、農林水産の海水処理施設更新の5事業に活用している。

#### 【生成AI】

導入すべきでは

#### 問 八木委員

生成AIは導入しているか。事業の効率化を進める意味でも導入するべきでは。

#### 答 財政課長

個人情報や機密情報の取り扱い、生成AI側の信頼性の確認がネックとなり現在は導入していないが、国からの情報提供などを踏まえて検討していきたい。

#### 【岡崎夕陽展望所】 撤去か改修しては

#### 問 八木委員

岡崎夕陽展望所は現在立入禁止の状態にあり、看板を見た観光客が訪れても入れず印象が悪い。県に対し、早急に撤去か改修を申し入れるべきだと思ふ。

#### 答 観光課長

展望所は破損箇所があるため閉鎖し、観光協会の備品を保管している。屋上の防水シートが剥がれや軒天の落下があり、毎年修繕を要望している。修繕が困難な場合は撤去も含め、今年度も県に要望していく。



▲岡崎夕陽展望所

## 【住環境

### リフォーム事業】

制度を見直しては

**問** 八木委員

住環境リフォーム推進事業の補助は1世帯1回限りだが、10年ほど経過した場合に再度対象とすることはできないのか。

**答** 建設水道課長

実現については難しいと考えるが、当初予算編成の時に実現に向けて頑張りたい。

**答** 町長

資材の高騰で従来の値段でできないことは十分承知している。1回限りでは利用者が減っていくため、制度の見直しが必要だと考える。



## 【八森山

### 町民の森公園】

遊具を設置しては

**問** 工藤委員

八森山町民の森で現在稼働しているのは野球場とゴルフ練習場のみで、公園機能は縮小している。八森山頂上やキャンプ場、林間広場は草ぼうぼうのため、最低限の草刈りを実施すべき。また、子ども遊具も少なく、夕陽公園なども含め、小規模な遊具でも設置すべきでは。

**答** 財政課長

現地を確認し、対応方法を検討したい。遊具は案外高額だが、町にも必要であり、予算や財源についても検討する。



## 【消防団員の

### 定年延長】

検討すべきでは

**問** 八木委員

今年の消防出初式や観閲式で団員が少なく、年々減少している。団員の定年延長（65歳→70歳、班長以上は70歳→75歳）を検討すべき。また、一度退職した人が再び団員になるのはどのくらいあるか。

**答** 総務課長

深浦町の消防団員の定年は一般団員が65歳、役職者は70歳。団員から65歳の定年を70歳に延長してほしいとの要望があり、まずは一般団員の定年延長を検討する。再入団は昨年も含めおおむね10件程度ある。



▲観閲式の様子

## 【地域おこし

### 協力隊】

活動内容や期間は

**問** 工藤委員

地域おこし協力隊の活動内容や期間は。

**答** 総合戦略課長

浪岡敏勇さんは任期満了後、岩崎地区の集落支援員として活動中。県と連携し住民アンケートやうどん教室をやりながら集落点検を実施し、分析後にフックシヨップを開いて課題解決に取り組む。任期は定めず、2〜3年で成果を出し小さな拠点づくりを目指している。



▲うどん教室の様子

## 【ふるさと納税】

もっとアピールしては

**問** 藤田委員

ふるさと納税は重要な財源。深浦は寄付額が少ない。果物や魚だけでなく、五能線や温泉、パックなど多様な返礼品や、インフルエンサーを活用した発信など、もっと効果的なアピール方法を検討すべきでは。

**答** 総合戦略課長

深浦町のふるさと納税は県内で中間の順位で、6年度は5,600万円と増加した。果物やサケが少なく、海産物のアピールも難しいが、米などの需要を掘り起こせば寄附額の増加が期待できると考える。



## 【福祉事務所未設置町村による相談事業委託料】

内容や相談件数は

### 問 斉藤委員

福祉事務所未設置町村による相談事業委託費580万円は、どこに委託しており、内容は何か。また、年間の相談件数はどのくらいか。

### 答 福祉課長

相談事業は社会福祉協議会に委託し、生活困窮や引きこもりなど生活全般の相談を受けている。年間の相談件数は15〜16件である。



## 【行合崎の清掃】

### 問 今委員

行合崎の清掃状況が報告に出していない。実施しているのか、やる気がないのか、予算不足なのか、その理由は。

### 答 町民課長

深浦町は海岸線が長く、全域の漂着物回収は困難である。風合瀬いか焼き村を重点的に清掃し、住民要望や危険な流木には緊急対応している。行合崎は重機が入れず緊急対応は難しいが、今後の対応を検討する。

### 答 建設水道課長

県の漁港や建設海岸の清掃補助はなく、町で対応するしかない。県環境政策課に被災ごみの対応を尋ねたが、東日本大震災の時以外は例がなく、残念に思った。

## 【大館 トマトハウス】

募集状況を教えて

### 問 今委員

大館ハウスの募集に応募者はあったのか。現状は。

### 答 農林水産課長

大館のトマトハウスは全84棟中13棟が空きで、高齢や体調不良が理由である。昨年は5棟の空きで、農協と連携し広報お知らせ版で定期的に情報を掲載している。



▲大館トマトハウス

## 【老人クラブ】

補助金交付の条件は

### 問 岩根委員

老人クラブは、解散状態の地域もある。補助金交付に係るその確認方法は。

### 答 福祉課長

老人クラブの事務は、社会福祉協議会が老人クラブ連合会の事務を引き受けている。そのため、各老人クラブの収支決算や交付に係る予算については、すべて社会福祉協議会を通して取りまとめ、町に提出してもらっている。



## 【空き家対策】

情報提供の件数や情報提供者への連絡は

### 問 七戸委員

空き家対策費について、特定空き家助成金はゼロ、準特定空き家補助金は9件・270万円であった。令和6年度の町民からの特定空き家情報提供数と、そのうち特定空き家と認定された件数、認定結果を情報提供者に連絡しているか。

### 答 総務課長

町民からの情報提供は1件あったが、特定空き家に認定はされなかった。個人情報保護のため、情報提供者には認定結果は通知していない。

